

住宅を設計してきて感じるこのひとつに、キッチンへのこだわりがずいぶん強くなってきたように思う。しかし、これは当然のこと、食べることが毎日欠かすことのできないことであるし、またそこでの時間をどんなふうに過ごし、また家族とのコミュニケーションをどうとってゆかなど、キッチンはいろんな意味で家の中で重要な位置にあるからである。自分の思いどおりのキッチンで料理をしたい。これは皆さん思われることだろう。

しかし、その「思いどおり」ということは人によっても違うし、たとえ同じ人であっても年齢や家族構成の変化によっても変わってゆくと思う。例えば子育て中は料理の量も回数も食器の数も全てにおいて多いので、広い作業台、

広いシンク、大きな収納のキッチンがほしい。あるいは、子供が少し大きくなってくれば一緒にキッチンに立って料理を作れるよう、スペース的にはゆったりとほしい。また、友人を招いてのホームパーティをするのが夢なので、部屋の真ん中に美しいアイランドキッチンをつくりたいなど。

そして年を重ねてゆけば、安全性に特に配慮した設備を望まれたり、またもつと楽な姿勢(座って料理をしたいなど)、「思いどおり」は、またちがったものになってくると思う。このようにキッチンも自分の人生とともに変化していてもいいと思う。

現在最も一般的なシステムキッチンは、様々な収納や設備を一定の規格で組み合わせることができ、キッチンで、



ドイツ製システムキッチンを入れた明るいキッチン

いろいろなメーカーがあり種類も豊富である。しかし、一人一人の要望に対応するといふものではなく、あくまで既製の中から組み合わせになる。

もし、その中に自分の「思いどおり」が見つからない場合は、オーダーキッチンというものもある。これは一人一人の注文にあわせ、一から作るキッチンである。一つ一つの収納や設備を「思いどおり」につくってゆけるので満足のゆくものができる。こつこつたキッチンはかなり高額になってしまうと思わ

れがちだが、システムキッチンと変わらない値段でも可能である。というのも適材適所の材料選びが可能で、システムキッチンメーカーほどの経費や広告費がかからないからである。

もし、今後キッチンを新しくしたいと思ったとき、そして「思いどおり」のキッチンを望まれるときは、一度検討されることをお勧めする。